

4. 持続可能な人づくり事業

(1) ボランティア研修事業

◆2016年日本語ボランティア養成講座

| | 実施日 | テーマ | 講師 | 参加者数 (うち外国人) |
|-----|--------|-----------------------------|-----------------------|-----------------|
| 第1回 | 11月1日 | 在日外国人の歴史と現在の課題(公開講座) | 田中宏 (一橋大学名誉教授) | 53(3) |
| 第2回 | 11月8日 | 参加型で考える、わたし・地域・ボランティア | 上村有里(とよなかESDネットワーク) | 23(0) |
| 第3回 | 11月15日 | とよなか国際交流協会の取り組みと日本語交流活動について | 山野上隆史(とよなか国際交流協会事務局長) | 27(0) |
| 合計 | | | | 103(3) |

◆千里にほんご 日本語ボランティア養成講座(千里地域連携センター)

| | 実施日 | テーマ | 講師 | 参加者数 (うち外国人) |
|-----|-------|-----------------------------|---------------------------|-----------------|
| 第1回 | 2月9日 | ヒューマンライツとは何か | 松本城洲夫 (イタリア生活文化交流協会) | 24(0) |
| 第2回 | 2月16日 | 参加型で考える、わたし・地域・ボランティア | 上村有里 (とよなかESDネットワーク) | 21(0) |
| 第3回 | 2月23日 | とよなか国際交流協会の取り組みと日本語交流活動について | 山野上隆史 (とよなか国際交流協会事務局長) | 25(0) |
| 合計 | | | | 70(0) |

◆多文化子育て支援ボランティア養成講座

日本に暮らす外国人の定住化と国際結婚が増え続ける中、かれらの抱える課題を、同じく子育てをしている日本人に知ってもらい、すべての人が安心して子育てができるためには地域で何ができるかを考えるための講座を行った。講座終了後、各活動の見学を経て、豊中市親子参加型日本語教室「おかまち・おやおでにほんご」、「しょうない・おやこでにほんご」、「多文化保育にこにこ」のボランティアとして活動し始めた。また、他事業の協会ボランティアも参加して研修の場とした。

| 実施日 | テーマ | 講師 | 参加者数 (うち外国人) |
|--------------|---|---|-----------------|
| 第1回 5月26日 | 「日本における外国人の現状と課題」 | 山野上隆史 (とよなか国際交流協会事務局長) | 24(2) |
| 第2回 6月2日 | (公開講座)「じぶん まる!~性って誰かに決められるもの?!~」 | 田中一歩さん、近藤孝子さん (セクシュアルマイノリティのこどもたちの居場所づくり にじいろ i-Ru (アイル) スタッフ) | 50(6) |
| 第3回 6月9日 | とよなか国際交流協会の取り組みと「おやおでにほんご」活動紹介 ※時間はいずれも10時~12時 | 山本愛(とよなか国際交流協会職員) おやおでにほんごのボランティア | 24(2) |
| 合計 | | | 98(10) |

◆哲学カフェ in とよなか国際交流センター

テーマについて参加者みんなでもうたり、意見を出し合うスペースづくりを、「哲学カフェ」を実践しているカフェ・フィロや大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室の大学院生、大学生と共に創出した。開催曜日や時間を工夫して、テーマに興味のある人が参加できるように試みた。また「女性のための哲学カフェ」を開催し、女性が安心して話せる場を作った。進行役、ボランティア、協会職員が一緒に話し合いテーマを決定し、チラシも進行役本人に作成してもらった。

| | 実施日 | テーマ | 進行役 | 参加者数 (うち外国人) |
|-----|-------|-------------------------|----------------|-----------------|
| 第1回 | 6月18日 | 引っ越して変わることは? | 川崎他唯史(大阪大学大学院) | 13(1) |
| 第2回 | 9月17日 | 女性のための哲学カフェ「安心」ってなんだろう? | 萩原彩香(大阪大学) | 12(0) |
| 第3回 | 1月28日 | さぼりたい? | 鈴木径一郎(大阪大学職員) | 14(1) |
| 合計 | | | | 39(2) |

◆学生受け入れ

大阪大学大学院人間科学研究科および大阪市立大学大学院より、以下4人のインターン学生を受け入れた。

| | | |
|---|--------|--|
| 大阪大学大学院人間科学研究科 | Y.S さん | 「おまつり地球一周クラブ」運営業務など |
| 大阪大学大学院人間科学研究科 | H.H さん | 「おまつり地球一周クラブ」運営業務、多文化フェスティバルにおける企画運営、「高齢者支援調査事業」など |
| 大阪大学人間科学部 | I.A さん | 「おまつり地球一周クラブ」運営業務、多文化フェスティバルにおける企画運営など |
| 大阪市立大学大学院 (文部科学省科学技術人材育成費補助 金ポストドクターキャリア開発事業) | O.T さん | 「小学校外国語体験活動」運営業務、「哲学カフェ」等 |

◆「ブックトーク in とよなか国際交流センター 家族写真をめぐる私たちの歴史」

同著の出版を記念してのブックトークを開催。日本社会に生きる、さまざまなルーツを持つ女性たち、在日朝鮮人、被差別部落、アイヌ、沖縄、アジア（フィリピン、スリランカ、ベトナム）出身の20代から70代の女性たち24人が「家族写真」を手がかりに自分や家族のことを綴った書籍。萩原弘子さん、皇甫さんはじめ執筆者たちの話をきき、「家族写真」が持つ今日的な意味について参加者と語り合った。

| 実施日 | 講 師 | 参加者数（うち外国人） |
|----------------------|--|-------------|
| 9月24日 14:00～16:30 | 皇甫康子さん（「在日」女性の集まり「ミリネ」代表） 萩原弘子さん（大阪府立大学） 他執筆者 | 48(12) |
| 合 計 | | 48(12) |

◆とよなか市制 80 周年記念連続セミナー 新たな多文化共生の地平をめざして～とよなか国際交流センターの過去・現在・未来」

とよなか国際交流センターと共に設立された国際交流協会の創成期、転換期、そして現在を担う4人の新旧事務局長と共に、それぞれの時代および視点から協会の歴史や実践を学ぶとともに、市民および行政との連携・協働について考え、豊中の多文化共生の拠点としての国際交流センターのこれからを考えた。

| 実施日 | テーマ | 講 師 | 参加者数 (うち外国人) |
|-----------------------|---|---|-----------------|
| 10月8日 14:00～16:00 | 「とよなか国際交流協会と私～協会の役割と可能性について考える」 | 雨森孝悦さん（日本福祉大学教授） | 36(9) |
| 10月20日 18:30～20:30 | 「行財政改革と外国人への“非対称性”への気づき～転換期から見えてきたものとこれからの国流」 | 榎井縁（大阪大学特任准教授／理事）、金相文（常務理事）、山野上隆史（事務局長） | 44 (7) |
| 合 計 | | | 80 (16) |

◆「ヘイトスピーチ解消法」を考える～ゆるせない！人種差別を扇動する言動！

近年、在日外国人に対する暴言や暴挙を伴う深刻な人権侵害が繰り返されている。この言動には目に余るものがあり、多くの人たちがこの状態を黙視できないと立ち上がることによって、去る5月24日の国会で「ヘイトスピーチを解消することを目的とした法律」が成立した。しかし、この解消法の中身と対処法には大きな課題を含んでいる。この講座では、ヘイトスピーチの問題点と今回成立の「解消法」についての課題を明らかにするとともに、人種差別を扇動するヘイトスピーチを許さない地域社会をつくるために何か必要かを参加する人たちと共に考える機会とした。

| 実施日 | 講 師 | 参加者数（うち外国人） |
|-------------------|-------------------------|-------------|
| 7月23日 14:00～16:30 | 郭辰雄さん（コリア NGO センター代表理事） | 44(8) |
| 合 計 | | 44(8) |

5. 子ども国際事業

(1) おまつり地球一周クラブ

地域に暮らす外国人を中心に日本人も含め、ともに国際理解講座や遊び等の体験を通じて国際感覚を持った子どもたちを育成し、豊かな地域社会を構築することを目的として実施した。また、外国人講師の力を発揮する機会にもなった。2015年度までおまつり地球一周クラブの中で開催していた「チョアアチャオハングル講座」と今年度は合同開催を試みたが、参加者からも好評を得た。

| | 実施日 | テーマ | 参加者数 (人) | | |
|------|--------|-------------------|----------|-----|-----|
| | | | 計 | 子ども | 外国人 |
| 第1回 | 6月18日 | 韓国朝鮮のあそび編 | 31 | 16 | 5 |
| 第2回 | 7月23日 | 韓国朝鮮のお料理編 | 35 | 21 | 5 |
| 第3回 | 8月18日 | おめんを作ろう! | 19 | 11 | 2 |
| 第4回 | 9月24日 | エジプトを楽しもう! | 19 | 10 | 6 |
| 第5回 | 10月22日 | 韓国朝鮮のおでかけ編 | 21 | 11 | 7 |
| 第6回 | 11月24日 | ルーマニアのこどもたち | 27 | 17 | 4 |
| 第7回 | 12月24日 | 一緒にカポエイラ! | 30 | 12 | 3 |
| 第8回 | 1月29日 | 韓国朝鮮の楽器と舞踊を体験しよう編 | 14 | 7 | 2 |
| 第9回 | 2月25日 | 韓国朝鮮のお料理編 | 22 | 11 | 5 |
| 第10回 | 3月27日 | イギリスを知ろう! | 26 | 17 | 9 |
| 合計 | | | 244 | 133 | 48 |

(2) 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

韓国・朝鮮につながりのある子どもたちが、毎月第3土曜日に集まり、民族講師(ソンセンニム)から、民族の文化や遊びを学び通して、自尊感情を培うとともに、友だち(チング)とのつながりを深める場を設けた。市内小中学校の先生方が主体の「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」実行委員会を中心となり、「つどい」の運営を進めている。

民族講師(ソンセンニム): 金生遵、柳敬修、金景姫

| | 日程 | 内 容 | 参加者数 (うち外国人) | 先生(うち外国人 ※ソンセンニム含む) |
|-----|--------|------------------------|-----------------|------------------------|
| — | 4月16日 | 実行委員ミーティング | — | 8(3) |
| 第1回 | 5月21日 | 開講式・自己紹介・ハングル名札づくり・あそび | 13(13) | 12(2) |
| 第2回 | 6月25日 | 楽しく数字を覚えよう! | 14(14) | 13(4) |
| 第3回 | 9月19日 | 秋夕(チュソク)・地理・作文など | 15(15) | 10(3) |
| 第4回 | 10月15日 | 大阪鶴橋コリアタウンヘフィールドワーク | 11(11) | 12(1) |
| 第5回 | 11月19日 | 多文化フェスティバルに参加しよう | 17(17) | 10(1) |
| 第6回 | 12月17日 | ソルラルについて・新年のあいさつ・年賀状作り | 11(11) | 8(3) |
| 第7回 | 1月28日 | 調理実習〜キムパブとトックを作ろう〜 | 20(20) | 10(4) |
| 第8回 | 2月18日 | 1年間のふりかえりと文集作り | 19(19) | 6(2) |
| 第9回 | 3月18日 | 修了式 | 15(15) | 19(10) |
| 合計 | | | 135(135) | 108(33) |
| 総合計 | | | 243(168) | |

◆ハギハッキョ(夏期学校)

| 日程 | 名前 | 場所 | 参加者 |
|----------|-------------|----------------|-----|
| 7月26・27日 | 小学生のハギハッキョ | 豊中市立桜井谷東小学校 | 31 |
| 8月9・10日 | ハギハッキョ・キャンプ | 豊中市青少年自然の家わっぱる | 11 |
| 合計 | | | 42 |

Ⅱ. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業

1. おとなサポート事業

(1) 相談サービス

| | | |
|------------------|-------------|---|
| 生活相談・外国人女性専用電話相談 | | 相談件数（臨時通訳除く）計：1,146件 |
| 毎週金曜日 | 11：00～16：00 | |
| 相談員 | | 吉嶋かおり（臨床心理士） |
| 就労相談コーディネーター | | 植木美恵子 |
| 多言語スタッフ | 中国語 | 賈晨 |
| | 韓国・朝鮮語 | 朴貞淑 |
| | フィリピン語・英語 | 平松マリア |
| | タイ語 | ラッタナセリーウォン・センティアン／トラカウンタロンサック・ターンポー／バーンセン・ピシャモン |
| | ベトナム語 | グエン・ティ・ジェム・ミン |
| | スペイン語 | 滝本クラウディア |
| | インドネシア語／英語 | カスィ・プリスカ・サフィトリ |
| | ネパール語 | （協会職員） |
| 臨時通訳 | | 臨時通訳件数：6件 |

◆相談件数

2016年度の相談件数は1,146件、前年度が973件だったため、前年度比17.8%増だった。相談の多くが、中・長期に渡る継続対応が必要なケースが多い。調停や訴訟を求める相談者が増加傾向にある。

相談者の居住地は、例年通り豊中市が最も多く、40%だった。センター事業の「利用者」からの相談は、例年通り豊中市民が多く、約70%を占めた。大阪府下全域では85.2%であり、この割合は例年と変わらない。他に、近畿の他府県だけでなく、電話やメールで全国、海外からも相談が寄せられている。

国籍は例年通りフィリピンが最も多く46.9%。フィリピン語での相談が大阪ではほとんどないため、当方に集中していることに加え、継続対応が必要な相談内容が多い。長年実施してきているため、口コミで相談につながっている。次いで中国が8.6%、韓国7.1%、ベトナム4.9%となっている。日本国籍者からの相談も多く、9.5%を占めている。

日本国籍だがルーツが日本以外の方は42件だった。日本国籍で使用言語が日本語以外の相談は22件、外国籍だが日本語で相談を行ったのは460件（約40%）、そのうち相談対応言語以外の言語を公用語（母語）とするものは30件、10カ国語だった。日本語で対応した相談は、日本語での会話が可能で、プライバシーを守りたいために、あえて日本人スタッフへの対応を求めたものと、関係機関との連携によるものが多かった。国籍は30カ国に及んだ。

在留資格は定住者35.5%、配偶者10.6%、永住者8.4%だった。

職業では介護職が21.7%、パート・アルバイトが14.0%、無職（主婦を除く）が12%だった。無職は生活保護受給者が多く、就労者はほぼ非正規労働者である。

<相談内容と件数>

| 大項目 | 内容別件数 (前年度比) | 割合 (%) | 前年度 件数 | 小項目 <カッコ内は全件に占める割合 (%) > |
|------|-----------------|-----------|-----------|--|
| 夫婦関係 | 307 (145%) | 21.7 | 210 | DV (2.7)、離婚 (11.7)、親権・養育費 (5.5)、不和・不満 (0.8)、国際結婚 (0.8)、その他 (0.2) |
| 手続き | 136 (91%) | 9.5 | 148 | 在留資格など (4.4)、家族呼び寄せ (0.9)、養子 (0.1)、日本国籍取得・帰化 (2.8)、その他 (1.3) |
| 生活 | 391 (112%) | 27.7 | 346 | 日常生活 (6.0)、行政手続き (7.0)、住居 (1.8)、日本語学習 (5.5)、金銭問題 (3.5)、交通事故 (0.3)、生活困窮 (1.1) その他 (2.5) |
| 保健 | 50 (92%) | 3.6 | 53 | メンタルヘルス(0.3)、医療(1.8)、母子保健(0.8)、その他 (0.7) |
| 人間関係 | 32 (84%) | 2.2 | 37 | 家庭 (1.4)、友人 (0.4)、地域 (0.1)、職場 (0.2)、その他 (0.1) |

| | | | | |
|-----|------------|------|-----|--|
| 労働 | 291 (66%) | 20.6 | 357 | 求職 (4.2)、就労定着上の問題(1.5)、失業・退職 (0.2)、労災 (0.7)、給料未払 (5.9)、その他 (8.1) |
| 子ども | 171 (113%) | 12.0 | 151 | 子育て (3.3)、学校 (5.4)、保育所・幼稚園 (1.9)、その他 (1.4) |
| その他 | 38 (63%) | 2.6 | 60 | 人権侵害 (0.1)、その他 (2.5) |

※1件の相談が複数のテーマにまたがることもあるため、内容別件数全体は相談件数全体より大きくなる。

※2015年度から、「手続き」の中に「日本国籍取得・帰化」と、「生活」の中に「生活困窮」の小項目を設けた。「日本国籍取得・帰化」はジャパニーズ・フィリピン・チルドレンの日本国籍取得手続きの相談がほとんどを占める。「生活困窮」の相談件数は18件だが、生活保護受給者の相談は約100件あり、約10%を占めている。

◆機関連携

他機関からの問い合わせ、他機関で受けた相談者への支援依頼など、他機関との連携による相談は200件(17.4%)だった。機関連携で多いのは、法的対応にかかる弁護士との連携、経済的困窮者(生活保護受給者含む)の家庭や生活上等の問題、就労支援、労働問題、DV被害者への対応、子どもの学校生活における問題等であった。

| | |
|--------------|---|
| 豊中市 | 人権政策室、保健センター、子ども家庭相談室、教育委員会、幼稚園、小・中学校、福祉事務所、地域就労支援センター(雇用労働課)、市民相談課 |
| 豊中市以外の自治体・学校 | 女性相談支援機関、他市DV担当、府・他市教育委員会、他市子ども家庭相談室、他市福祉事務所、公立高校、 |
| 公的支援機関 | 年金事務所、府・市社会福祉協議会、母子福祉支援施設、公営住宅、他市国際交流センター |
| その他支援機関 | いくの学園、チャーム他支援団体、JFCネットワーク、人権擁護団体 |
| その他 | 弁護士、病院、協会事業ボランティア、メディア、研究者 |

◆スタッフ研修(内部・外部)

相談事業スタッフの研修を行い、相談員としての基本的な知識・スキルを学び資質向上をはかった。

| 実施日 | テーマ 講師 | 参加者数(人) |
|-----------------------|---|---------|
| 6月26日、7月2日、7月9日、7月17日 | 通訳者・相談員スキルアップ講座 主催：すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク | 3 (3) |
| 8月28日 | 外国籍LGBTの課題や支援方法 講師：大畑泰次郎さん(弁護士) / QWRC | 1 (1) |
| 1月26日 | DV被害者支援と支援者・援助者のセルフケア 講師：宮本由起代さん(大阪心のサポートセンター) | 1 (1) |
| 2月25日 | 外国籍LGBT支援者研修会 講師：大畑泰次郎さん(弁護士) | 14 (9) |
| | 合計 | 19 (14) |

◆外国人のための多言語セミナー／一日相談会

相談事業によせられる相談から課題を抽出してセミナー化し、広く情報提供をはかった。すべての講座に通訳と保育をつけて、外国人女性が参加しやすい環境を整えた。また、特定のテーマでの専門家による一日相談会も開催した。

| 実施日 | テーマ 講師 | 参加者数(人) |
|--------|---|---------|
| 11月25日 | 外国人女性向け健康セミナー「アールヴェーダで病気と老化を防ぐ」&無料健康相談会 講師：岡部正子さん(アールヴェーダセラピスト) 共催：NPO法人チャーム、協力：豊中市保健センター | 36 (24) |
| 12月9日 | 外国人向けセミナー「思春期の子どもとケンカにならない関係づくり～お互いを尊重しよう」 講師：北野真由美さん(エンパワメント堺) | 27 (24) |
| 12月10日 | 一日多言語生活相談会@みんなあつまれわくわくランド(庄内) 多言語スタッフ(フィリピン語、インドネシア語、英語、中国語、韓国語、タイ語) | 8 (7) |

| | | |
|-------|------------------------------|--------|
| 2月17日 | 外国人のための確定申告相談 相談員：税理士1人 | 7(7) |
| 2月18日 | ベトナムの旧正月を祝おう ベトナム語多言語スタッフ | 12(11) |
| | | 90(73) |

◆地域連携

| 実施日 | 内容 |
|---|---|
| 11月29日 | 豊中市 保健師会への参加・情報提供(中部保健センター) |
| 8月30日、8月4日、2月6日 | 子ども施策推進本部連絡会議、実務担当者会議 |
| 6月30日 | DV防止ネットワーク会議 代表者会議、実務担当者会議 |
| 6月3日、27日 | 虐待防止ネットワーク会議 |
| 7月19日、25日、27日、28日、8月12日、16日、2月14日、15日、27日、3月2日、6日、10日 | 豊中市社会福祉協議会主催 地域福祉ネットワーク会議 |
| 10月19日 | 子育て・子育て支援ネットワーク子ども部会克明小学校区連絡会 |
| 7月13日 | みんなあつまれわくわくランド実行委員会 |
| | 豊中市スポーツ振興事業団の豊中市スポーツ施設案内の多言語案内翻訳協力※継続中(9言語) |

◆リコン・アラート(協議離婚問題研究会)の実施、多言語啓発ツールの作成

2014年度に実施したシンポジウムでは、協議離婚制度の簡便さから、日本人配偶者である夫から、勝手に離婚届を出されるといふ相談ケースをふまえて国際結婚の事例をもとに、協議離婚制度の問題について提起し、議論を深めた。昨年度は当該ケースに関して共同通信社の取材を継続的に受入れ、全国の多くの地方紙に「勝手に離婚された」事例と協議離婚制度の課題が掲載され、相談事業から見えてきた課題についての問題提起を引き続き行った。今年度は関係団体と協働で当初制度改善のための法務省への申し入れ会議を開催して検討を繰り返したが、当事者への啓発が喫緊の課題であることをうけ、年度途中から「リコン・アラート(協議離婚問題研究会)」(代表事務所：とよなか国際交流協会)に会議の名称を改め、定期的なミーティングと共に、離婚届けの多言語翻訳および当事者向けの多言語啓発ツールである啓発動画&パンフレットと11言語でのウェブサイトならびにフェイスブックページを作成した。(制作費用の一部は、リコン・アラートのメンバーである二宮周平先生(立命館大学)の科研費を利用)

| 会議実施日 | 内容 | 参加者 |
|----------------|---------------------------------|-------|
| 6月4日14時~16時 | 協議離婚問題に関する法務省への申し入れ会議 第1回 | 12(2) |
| 8月16日 10時半~12時 | 同 第2回会議 | 11(2) |
| 12月6日10時半~12時 | リコン・アラート(協議離婚問題研究会)に会議名変更、第1回会議 | 17(2) |
| 2月7日10時半~12時 | 同 第2回会議 | 12(1) |
| | | 52(7) |

[リコン・アラート構成メンバー]

二宮周平さん(立命館大学)、大谷美紀子さん(弁護士、外国人ローヤリングネットワーク代表)、芝池俊輝さん(弁護士、外国人ローヤリングネットワーク事務局長)、木村雄二さん(外国人労働者とその家族の権利を守る関西ネットワーク RINK)、村西優季さん(NGO 神戸外国人救援ネット)、いくの学園、京都YWCA・APT、アジア太平洋人権情報ネットワーク(ヒューライツ大阪)、箕面市国際交流協会

URL : <http://atoms9.wixsite.com/rikon-alert>

パンフレット：日本語(4,000部)、英語(6,000部)、中国語(4,000部)、韓国語(4,000部)、フィリピン語(4,000部)、タイ語(2,000部)、ベトナム語(1,000部)、インドネシア語(1,000部)、ロシア語(1,000部)、スペイン語(1,000部)、ポルトガル語(1,000部) 合計29,000部発行

◆DV 啓発コーナーの設置運営

センター内に DV 相談を周知するために情報コーナーを設置し、多言語（9 言語）で情報提供した。

| | | |
|-----------|--------------------------|--------------|
| 登録学習者数 | 20 人（ボランティアは 4 人） | |
| サポートのべ回数 | 50 回 | |
| サポートのべ時間数 | 301.5 時間 | |
| 内容 | 日本語検定試験のためのボランティアによる個別指導 | |
| 実施日 | 4 月 | 5、12、19、26 |
| | 5 月 | 10、17、24、31 |
| | 6 月 | 7、14、21、28 |
| | 9 月 | 6、13、20、27 |
| | 10 月 | 4、11、18、25 |
| | 11 月 | 1、8、15、22、29 |

◆「日本語支援グループ・むすびめ」との協働事業 <日本語能力検定試験サポート>

2009 年度～2010 年度文化庁委嘱事業「多文化共生社会の基盤をつくるための“むすびめ”を生み出す日本語コーディネーター研修(むすびめ事業)」で研修を受けたボランティアが中心となり、2011 年度に

| | | |
|-----------|-----------------|-------------|
| 登録学習者数 | 1 人(ボランティア 1 人) | |
| サポートのべ回数 | 5 回 | |
| サポートのべ時間数 | 9.5 時間 | |
| 内容 | 課題作成のためのサポート | |
| 実施日 | 1 月 | 14、16、21、23 |
| | 2 月 | 7 |

「日本語支援グループ・むすびめ」が結成され、月曜日のにほんご活動事業「もっともつつかえるにほんご」の運営および、外国人への具体的な仕事や資格につながる支援事業(主に日本語を切り口とした)を協会と共催した。

就労のための資格取得サポートの一環として、日本語能力検定試験にむけた個別サポートを実施した。毎週火曜日の開催とし、試験日の 3 ヶ月前からの実施をおこなった。

<その他の資格取得サポート>

介護職員初任者研修資格取得のための個別サポート

<協会/むすびめ連絡会>

「日本語支援グループ・むすびめ」と協会が実施する共催事業や資格・就労のための日本語学習の打ち合わせなど、情報共有を定期的実施した。

| | |
|------|---|
| 参加者数 | のべ 29 人 |
| 実施日 | 4 月 25 日、5 月 23 日、7 月 25 日、8 月 29 日、9 月 26 日、10 月 31 日、11 月 28 日、1 月 16 日、2 月 20 日、3 月 27 日 |

(2) コミュニティ活動

ベトナム人市民による自主的なコミュニティづくり支援のため、ベトナム人の有志が集まる卓球などのアクティビティ活動場所の提供やコミュニティ周知のための助言・相談を行った。

| | | |
|------|-----------------------|-------|
| 活動回数 | 参加者数 | 内容 |
| 20 回 | のべ 143 人(うち外国人 140 人) | 卓球 ほか |

(3) 防災事業

大規模災害時における外国人市民等への情報提供や支援体制を整えるため、昨年より豊中市と協議を重ねた。2 月 28 日に豊中市と「災害時多言語支援センター設置に関する協定書」を締結し、災害時における外国人市民等の支援を円滑に行うため、センターの設置・運営並びに当協会と豊中市が果たすべき役割について決めました。さらに、3 月 11 日に「多文化共生フォーラムとよなか 2017 大規模災害時における外国人支援、今後のめざすべき方向とは」を開催した。内容は、①南三陸町在住の佐々木アメリカさんの講演「東日本大震災の経験から」、②国際交流の会とよなかの葛西さんから報告「阪神・淡路

大震災時の取組について」、③熊本地震の対応について視察報告（金相文）、⑤パネルディスカッション「豊中市における外国人支援のあり方を考える」（佐々木アメリカさん、塚本俊也特任教授：大阪大学大学院未来共生イノベーター・プログラム、吉川友香さん：大阪府国際交流財団）に引き続き、当協会と大阪大学大学院国際公共政策研究科とで「外国人への多言語での情報提供に関する協定」を締結した。実際の災害時等に確実に対応するため、今後、地域や外国人コミュニティとのつながり作りが課題としてあげられた。

3月17日には、北消防署の協力の下、日本語交流活動「金あさ」とともに避難訓練を行った。

| 実施日 | 内 容 | 場 所 | 参加者数 (外国人) |
|-------|---------------------|--------------|------------|
| 6月29日 | とよなか市民環境会議 | 青年の家 いぶき | 1 (1) |
| 3月11日 | 大規模災害時における外国人支援セミナー | とよなか国際交流センター | 52 (10) |
| 3月17日 | 避難訓練 (火災) | とよなか国際交流センター | 46 (23) |

2. 子どもサポート事業

(1) 多文化子ども保育 “にこにこ”

地域に暮らす就学前の外国人の子どもたちが、読み聞かせや自由遊びなどの保育を通して、多様な子どもやおとなと接し、コミュニケーションを取ることで社会生活に慣れるための場づくり。保護者にとっては子どもと離れて日本語交流活動へ参加したり、自分の時間を持てる場になっている。外国人保護者にとっては、保育の専門知識を持つボランティアへ子育て相談をしたり、幼稚園・保育所のことなど地域の情報を得ることができる場になっている。

| 実施曜日 | 時間 | 回数 | ボランティア登録者数 | 参加者数 (のべ人数) : うち外国人 ボランティア登録者数 (のべ人数) |
|------|-------------|-----|------------|---|
| 木曜日 | 13:30~15:30 | 46回 | 3人 | 子ども (63) : うち外国人 (63) ボランティア登録者数 (112) |
| 金曜日 | 10:30~12:00 | 47回 | 5人 | 子ども (432) : うち外国人 (432) ボランティア登録者数 (212) |
| 合 計 | | | | 子ども (495) : うち外国人 (495) ボランティア登録者数 (324) |

◆豊中市子ども読書活動連絡会

豊中市では今年度より「豊中市子ども読書活動推進計画」を「こどもすこやか育みプラン・とよなか〜豊中市子育て・子育て行動計画〜」（子ども未来部）の中に組み入れられ、新たに「こども読書活動連絡会」を立ち上げ、年2回の報告会を持つこととなった。協会では、毎年「おやこでにほんご」のボランティアと職員が「障害のある子どもや外国人の子ども」の読書環境を整備するワーキンググループへ参加し、事業実施の協力を行ってきた。これにより、読書活動において「外国人の視点」が地域課題のひとつとして認識されるようになり、図書館との連携という意味でも大きな意味があった。この動きを受け、協会内でも推進計画を具体的に進めていくために、「多文化子ども読書推進事業」を立ち上げ、「外国語絵本コーナー」の設置と8言語による「センター図書案内」を作成し、外国人の子どもが参加するすべての事業で、活動の中に読書推進の取り組みを盛り込むことに努めた。また継続して市立図書館にある外国語図書の蔵書を定期的にセンターに巡回配架する取り組みを始めており、センター利用者が多言語図書にアクセスしやすい環境がつけられている。

また、今年度も言語的マイノリティに置かれる外国につながる子どもたちが、乳幼児期から母語や本(絵本)と出会うために、多文化子ども保育にこにこ、おやこでにほんご(岡町・庄内・千里)、子ども母語などの事業で、プログラムに絵本の読み聞かせなどを取り入れたり、センターに外国語絵本コーナーを設けるなど、事業横断的に外国人親子の読書活動推進を行っている。

<ハード面での環境整備>

- ①外国語絵本コーナーの整理、周知
- ②市立図書館の外国語図書を配架(半年毎に入れ替え)

<ソフト面での環境整備>

- ①外国人親子の居場所づくり(おやこでにほんご)での読み聞かせ(母語・日本語)を行った。
- ②多文化保育にこにこで、絵本の読み聞かせを行った。

| 実施日 | 内容 | 場所 |
|---------------|--------------------------------|---------------|
| 6月2日 2月23日 | 第1回子ども読書活動連絡会 第2回子ども読書活動連絡会 | いずれも 岡町図書館 |

◆公民協働子育て支援イベント ～ みんな集まれわくわくランドへの出展協力

市が年に一度開催する子育てイベント。実行委員会に参加し、当日の出し物として、10月28日はパネル展示12月10日は相談事業の多言語スタッフが参加し、多言語相談コーナーを設置した。今年度はチラシ作成を一部多言語にするため、協会が翻訳協力を行った。(10月29日@柴原体育館、12月10日@庄内体育館)

(2) 子ども母語教室

外国にルーツを持つ子どもが母語や文化を学ぶことを通じて仲間と出会う場づくりを目的に、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語の4言語の母語教室を月に2回開催した。母語のスタッフはルーツを持つ大学生で、子どもにとってピア(同じ経験をした仲間)サポーターであると同時に、ロールモデルとしての役割を果たした。

<定例>

| 実施曜日 | 次期 | 時間 | 回数 | 参加者数(人) |
|--------------|--------------------------|-------------|-----|---|
| 第2日曜 第4日曜 | 2016年4月10日 2017年3月26日 | 10:00~12:00 | 96回 | 子ども(111)、ボランティア(118) 合計229人(うち外国人199人) |

<クラス別>

| クラス | 年間活動回数 | 参加者数(人) | | 合計 |
|--------|--------|---------|----------|-----|
| 中国語 | 24 | 子ども29 | ボランティア25 | 54 |
| ポルトガル語 | 24 | 子ども2 | ボランティア21 | 23 |
| スペイン語 | 24 | 子ども41 | ボランティア52 | 93 |
| タイ語 | 24 | 子ども39 | ボランティア20 | 59 |
| | | | 総合計 | 229 |

<その他>

| 実施日 | 内容 | 参加者数(人) | 合計 |
|--------|--------------------------|----------------|----|
| 6月12日 | 【合同イベント】みんなでブラジル朝ごはん | 子ども8、ボランティア10 | 18 |
| 12月25日 | 【合同イベント】母語サンプレイス合同クリスマス会 | 子ども14、ボランティア6 | 20 |
| 1月22日 | 【合同イベント】ペルーの料理(フリホーレス) | 子ども12、ボランティア8 | 20 |
| 2月12日 | 【合同イベント】中国の旧正月(水餃子作り) | 子ども17、ボランティア13 | 30 |
| | | 合計 | 88 |

(3) 学習支援・サンプレイス

外国にルーツを持つ子どもを対象に、大学生・大学院生ボランティアによる日本語・学習支援を通じた居場所づくりを行った。外国にルーツをもつ学生もボランティアとしてかかわっており、そのことで子どもの悩みやニーズへ柔軟な対応を可能とした。今年度は、以前若者支援事業として実施していた「多文化ダンス教室」の子どもたちが、「サンプレイス」の中でダンスを練習することになったため、参加人数が昨年度よりも大幅に増加した。

<定例>

| 実施日 | 時期 | 時間帯 | 回数 | 参加者数(人) | |
|-------------|-------------|-------------|----|---------------|----------|
| 第一以外 の日曜 | 4月10日~3月26日 | 13:00~15:00 | 40 | こども(うち外国人) | 371(307) |
| | | | | ボランティア(うち外国人) | 170(115) |
| | | | | 合計(うち外国人) | 541(422) |

<その他>

| 実施日 | 内 容 | 参加者数 (人) | 合計 |
|--------|------------------|----------------------------|-----|
| 4月3日 | 魅惑のエンターテインメントショウ | 出演(18)、ボランティア(11)、参加者(110) | 139 |
| 8月5・6日 | 全国在日外国人生徒交流会 | 子ども(1)、職員(1) | 2 |
| 8月6日 | とよなか祭りパフォーマンス | 子ども(14)、ボランティア(4) | 18 |
| 8月14日 | 夏休みエクステンシブ① | 子ども(0)、ボランティア(2) | 2 |
| 8月28日 | 夏休みエクステンシブ② | 子ども(3)、ボランティア(2) | 5 |
| 8月28日 | 流しそうめん | 子ども(7)、ボランティア(3) | 10 |
| 10月22日 | さんあいイベント出店 | 子ども(2)、ボランティア(2) | 4 |
| 12月25日 | 母語サンプレイス合同クリスマス会 | 子ども(12)、ボランティア(8) | 20 |
| | 総合計 | | 200 |

◆関係機関等との連携

| 実施日 | 内 容 | 場 所 | 参加者数 |
|----------|--|------------------------------|------|
| 4月26日 | 豊中市こども・若者支援協議会担当者からのインタビュー | とよなか国際交流センター | 1 |
| 5月20日 | 豊中市外国人教育協議会(市外教)担当者会 | とよなか国際交流センター | 1 |
| 5月23日 | 池田市立呉服小学校 国際理学習全校集会・母国語教室開講式 | 池田市立呉服小学校 | 1 |
| 5月31日 | 特定非営利活動法人 暮らしづくりネットワーク北芝 施設見学、情報交流 | らいとびあ21、暮らしづくりネットワーク北芝事務所、など | 2 |
| 6月10日 | 豊中市外国人教育協議会(市外教)担当者会 | とよなか国際交流センター | 1 |
| 7月10日 | 高校進路相談会(主催:しょうないREK) | 庄内公民館 | 1 |
| 7月26、27日 | 韓国朝鮮の子どものための夏期学校「ハギハッキョ」 | 豊中市立桜井谷東小学校 | 1 |
| 6月2日 | 第1回 子ども・若者支援協議会 | くらしかん | 1 |
| 6月9日 | 子ども施策推進本部会議 | 豊中市役所 | 1 |
| 7月5日 | 子ども・若者支援協議会「第1回 豊中市版子ども・若者白書作成部会」 | くらしかん | 1 |
| 8月5日～6日 | 全国外国人教育推進協議会・東京大会/生徒交流会 | 国士舘大学/東京都町田市 | 1 |
| 8月28日 | とよなか進路フェア(パネル出店) | 青年の家いぶき | 1 |
| 9月6日 | 外国にルーツをもつ子ども・若者に関する情報共有会 | とよなか国際交流センター | 1 |
| 9月11日 | シンポジウム「これからの連携のカタチーひきこもり・若者支援マップが描く未来ー」 | ウエル大阪 | 1 |
| 10月13日 | 豊中市スクールソーシャルワーカー、少年文化館との情報共有 | センター | 1 |
| 10月21日 | 大阪府立高等学校「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜」説明会 | 大阪府立東淀川高等学校 | 2 |
| 11月1日 | 子ども・若者支援協議会「第2回 豊中市版子ども・若者白書作成部会」 | くらしかん | 1 |
| 11月6日 | 特定非営利活動法人ハニー・ビー主催「さんあいイベント」出店(わた菓子・スマートボール) 参加者内訳:(子ども・若者2、ボランティア2、職員4) | ふれあい緑地(服部西町) | 8 |
| 11月17日 | 第四中学校 夜間学級 総合発表会 | 豊中市立第四中学校 | 1 |
| 12月11日 | 子どもの権利条約フォーラム2016in 関西 | 千里金蘭大学 | 1 |
| 12月21日 | 子どもに関するケース会議 | 豊中市立小学校 | 1 |
| 1月29日 | 外国にルーツを持つ子どもネットワーク関西 会議 | 大阪国際交流センター | 1 |
| 2月10日 | 子どもに関するケース会議 | 豊中市立小学校 | 1 |
| 2月28日 | 第2回 子ども・若者支援協議会 | くらしかん | 1 |

子ども相談 合計 73件

| 内 容 | 件数 |
|----------|----|
| 生活 | 25 |
| 保健 | 2 |
| 人間関係 | 6 |
| 進学・進路・学校 | 40 |
| 合計 | 73 |